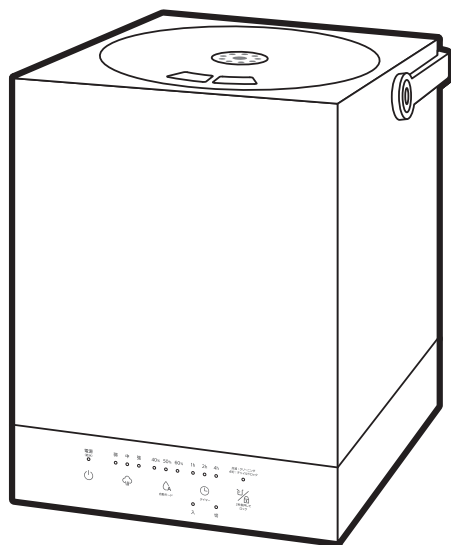


スチーム式加湿器

OB-SH01-W

取扱説明書

保証書付



もくじ

安全上のご注意	P1～2
各部名称	P3～4
使用方法	P5～10
お手入れについて	P11～12
保管のしかた	P12
故障かな？と思ったら	P13～14
仕様	P14
アフターサービスについて	P15
保証書	P15

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みになり、内容に従って正しくお使いください。また、お読みになった後も本書を大切に保管してください。

●仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。
イラストと実物の形状が異なる場合があります。

安全上のご注意

必ずお守りください

※ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが

想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示の説明



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の説明



禁止

○は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



指示

●は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



注意

△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告



分解禁止

発火・感電・故障の原因となりますので絶対に分解や改造等を行わないでください。



禁止

水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電の原因になります。



強制

電源プラグは交流電圧100V、定格15Aのコンセントを使用してください。



禁止

ふたを閉めずに加湿動作を行わないでください。



禁止

電源プラグを濡れた手で触れないでください。感電やけがの原因になります。



禁止

スチーム吹き出し口を触ったり、手や顔を近づけないでください。やけど・けがの原因になります。



禁止

雷が発生しているときは、本体および電源コードに触れないでください。感電の原因になります。



禁止

スチーム吹出口や通気口などのすき間からピンや針金など、異物を入れないでください。感電や異常動作して、けがの原因になります。



強制

感電や火災の原因となりますので電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。



禁止

マグネットプラグにピンやごみを付着させないでください。感電・ショート・発煙・発火の原因になります。



強制

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差込みがゆるい場合は、直ちにご使用を中止してください。火災の原因になります。



禁止

乳幼児が誤ってマグネットプラグをなめないようにしてください。感電・けがの原因になります。



強制

電源プラグにほごりが付いているときは乾いた布で拭きとってください。火災の原因になります。



禁止

お子様だけの使用や、乳幼児の手の届く場所で使用・保管を絶対にしないでください。



電源プラグを抜く

本体や電源コードが異常なとき(煙が出ている・異常に熱い・変なにおいがするとき)は、直ちにご使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止

殺虫剤・整髪料・掃除用具などのスプレーをかけないでください。樹脂や塗装部分が変質したり、破損したりする原因になります。



電源プラグを抜く

使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や故障の原因になります。



禁止

踏み台にしたり、腰をかけたり、寄りかかったりしないでください。転倒してけがの原因になります。



電源プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。やけど・感電・けがの原因になります。



禁止

本製品の電源仕様は日本国内専用に設計・製造されており、日本国外では電源電圧が異なりますのでご使用できません。指定以外の電源電圧で使用すると、火災・感電・故障の原因になります。 This product is designed for use in JAPAN only and can not be used in any other countries.



禁止

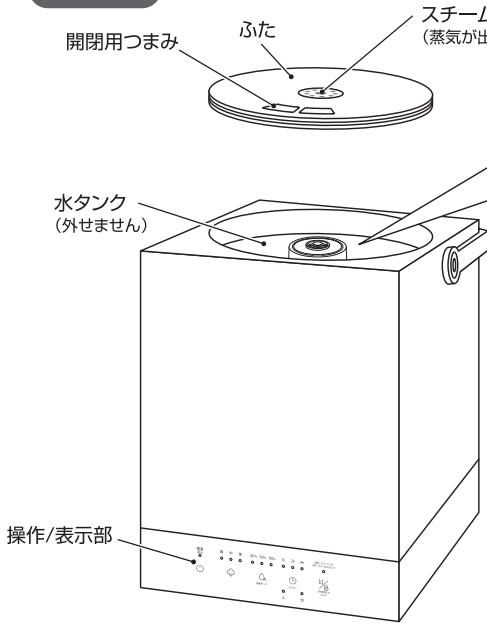
電源コードを傷つけたり、破損・切断・加工しないでください。また電源コードをきつく束ねたり、延長・固定・タコ足配線で使用したりしないでください。発熱などにより火災・故障の原因になります。

⚠ 注意

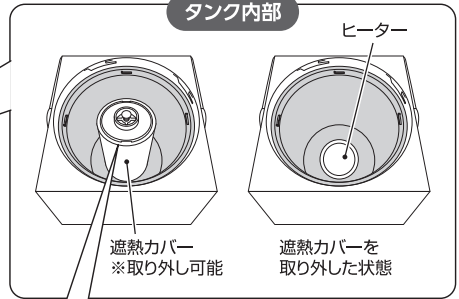
 禁止	不安定な場所には置かないでください。 転倒や、水漏れの原因になります。	 禁止	直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、 加湿器本体が温まる環境では使用しないでください。 故障や変形、変色の原因になります。
 禁止	スチーム吹出口をふさがないでください。 紙や布などでふさぐと変形や故障の原因になります。	 禁止	傾いた場所や棚などの高い場所・不安定な 場所には置かないでください。 転倒すると本体の破損、やけどやけがの 恐れがあります。
 禁止	温度40℃以上・湿度85%以上・水のかかる ところでは使用しないでください。 漏電・感電・火災の原因になります。	 禁止	スチーム吹出口に指を入れないでください。 やけどやけがの恐れがあります。
 電源プラグを 抜く	電源コードを抜くときは、必ずプラグを 持って抜いてください。 損傷の原因になります。	 禁止	水道水以外は使用しないでください。 一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌 が繁殖しにくいからです。ミネラルウォーター・アル カリイオン水・井戸水・浄水器の水を使用すると、カ ビや雑菌が繁殖しやすくなったり、水あかが多く なったりして、臭異の原因になります。
 電源プラグを 抜く	本製品を長期間使用しない場合は、 電源コードをコンセントから抜いておいてください。	 禁止	運転中や使用直後は、持ち運ばないでください。 やけどやけがの原因になります。
 禁止	本体の上に物を載せたり、本体の下に物を 置いたりして使わないでください。 故障の原因になります。	 禁止	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・ アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。
 禁止	仰向け・横倒し・逆さまにしないでください。 変形・故障・感電の原因になります。	 禁止	本体を移動するときは、水を捨ててから 移動してください。 けが・床を濡らす原因になります。
 禁止	衣類・タオル・ふとん・カバーなどで本体を 覆わないでください。 故障の原因になります。	 強制	本製品を使用しないときは水を捨ててください。 水タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ換えてく ださい。お手入れをせずにお使いになると、水あか やミネラル分が付着したり、カビや雑菌が繁殖して、 臭異を発したり、健康を害する原因になります。
 禁止	犬や猫などペットのためには使わないでください。 ペットが本体や電源コードを傷つけ、 火災・故障の原因になります。	 強制	本体の掃除は定期的におこなってください。 ホコリなどがたまる、 異常発熱や故障の原因になります。
 禁止	水タンクに水道水以外の物を入れないでください。 ガソリン・灯油・化学薬品・熱湯・汚れた水などは 絶対に入れないでください。 事故・故障・けが・汚れの原因になります。	 強制	本製品運転中は携帯電話やパソコン、他の電気機 器にスチームがあたらないようにしてください。 スチームにより、電気機器の火災・故障・変色等の 原因になります。
 禁止	本製品は家庭用のため、 業務用として使わないでください。 故障の原因になります。	 注意	凍結に注意してください。凍結の恐れが あるときは、本体の水を捨ててください。 凍結による故障の原因になります。
 禁止	湿度の高いところ(85%以上)では 使用しないでください。 室内を濡らしたり、故障の原因となります。	 注意	本製品はテレビ、ラジオなどから はなして設置してください。 雑音の原因になる場合があります。
 禁止	アロマオイルなど芳香剤を水タンクへ 絶対に入れないでください。 本体の破損や故障の原因になります。	 注意	運転中は、水タンク内の水温が熱くなりますので、 直接触れないようご注意ください。 やけどをする恐れがあります。
 禁止	本体をカーペットなどの柔らかい繊維の上に 直接置いて使用しないでください。 本体の故障や水漏れの原因になります。	 注意	運転中や、運転停止後すぐにふたを開けないで ください。 ふたのすき間から漏れ出た熱いスチームや、 スチーム吹出口・ふたに付着した熱い湯滴が こぼれてやけどの原因となります。
 禁止	スチームが直接、家具・壁・カーテン・天井などにあ たる場所で使用しないでください。 家具・壁に染みがついたり、変形の原因になります。 本体を壁・家具・カーテン・寝具などから50cm以上 離してご使用ください。	 注意	

各部名称

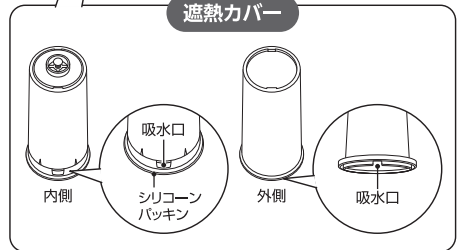
正面



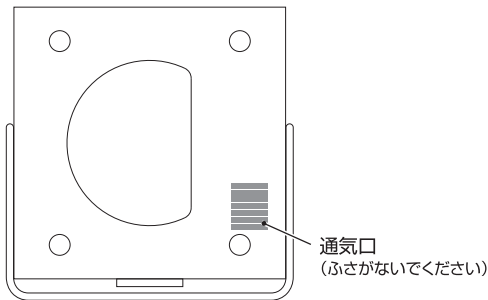
タンク内部



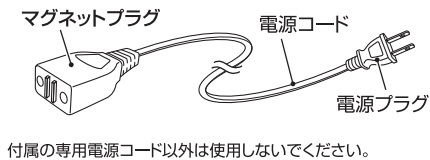
遮熱カバー



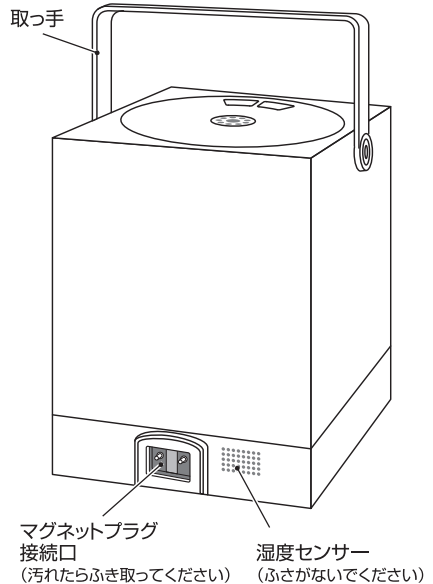
底面



電源コード



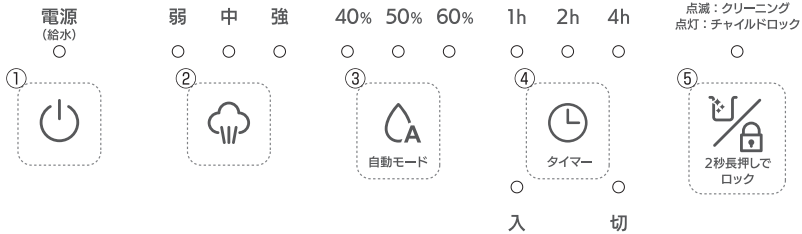
背面



各部名称

操作部（操作ボタン／表示ランプ）

操作ボタン



①電源ボタン

電源の入/切を行います。

②加湿量調節ボタン（連続モード）

弱・中・強3段階から選択します。

③自動モードボタン

周辺湿度40%・50%・60%から選択します。

④タイマーボタン

入/切タイマーの動作と時間を設定します。

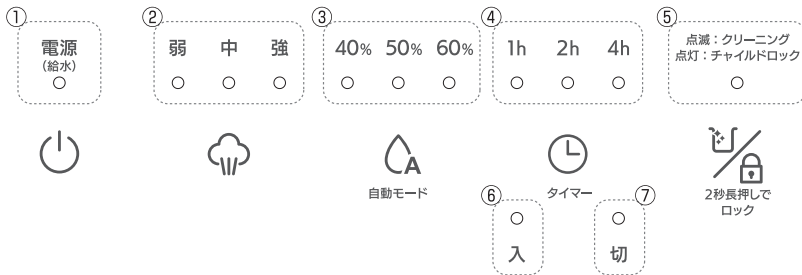
⑤クリーニング/チャイルドロックボタン

タッチ：クリーニングを選択します。

2秒長押し：チャイルドロックを選択します。

※クリーニングは待機中のみ選択できます。
(待機中とは電源コードを接続しただけの状態をいいます。P7参照)

表示ランプ



①電源（給水）ランプ

②加湿量ランプ

③湿度ランプ

④タイマーランプ

⑤クリーニング/チャイルドロックランプ

⑥入タイマーランプ

⑦切タイマーランプ

使用方法

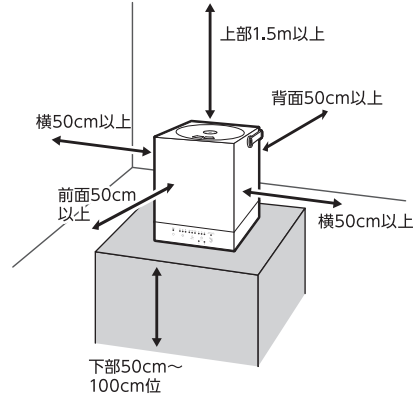
お使いになる前に 安全上の注意をよくお読みになり、水平で安定した場所に設置してください。

ご使用の前に

- はじめてご使用される際は、水タンクをすすぎ洗いしてください。
- 熱湯の給水はおひかえください。
水はね・湯気によるやけどや、センサー誤作動のおそれがあります。
- はじめてご使用される際は、湿度センサーが環境湿度を検知するのに数分かかります。
それまでは設定した内容で動作しない場合がありますが異常ではありません。
- 加湿を開始するまでの時間
水タンク満水時は、運転開始から加湿が始まるまで約15分程時間がかかります。(水温20℃の場合)
また、運転開始15分間は、加湿量「強」で運転し、その後設定した加湿量に変わります。
※表示ランプは設定した加湿量/湿度が点灯します。
※水の量・水温により加湿開始するまでの時間は異なります。

設置のしかた

- 本製品は水平で安定した場所に設置してください。
傾いた場所や棚などの高い場所・不安定な場所に置かないでください。
転倒すると本体の破損、やけどやけがのおそれがあります。
- 本製品は壁・寝具・カーテン・家具などから50cm以上離して設置してください。
- 床から50～100cm位離してください。
- スチーム吹出口を壁・寝具・カーテン・家具に向けないでください。
- じゅうたんなど毛足の長い布の上には置かないでください。通気口がふさがり、本体の故障、周囲への水漏れの原因になります。
- 本製品の近くには携帯電話、パソコンなど湿気に弱い電子機器、精密機器は絶対置かないでください。
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、加湿器本体が温まる環境では使用しないでください。
故障や変形、変色の原因になります。



使用方法

給水方法

電源コードをはずし、必ず本体が冷めてからおこなってください。

1 ふたを開ける

ふたの▼印が本体上部の🔒印の位置になるまで右に回してください。

2 遮熱カバーを取り付ける

遮熱カバー「外側」の中に「内側」を入れ吸水口がしっかりと重なるように「内側」を右に回す。

遮熱カバーを本体ヒーター部のくぼみに、まっすぐに止まるまではめ込む。

※吸水口がふさがらないように、遮熱カバーの「外側」と「内側」を正しく合わせてください。

図:吸水口についてを参照

3 給水する

水タンクに水道水を入れてください。

給水量は、満水線(MAX)を超えないでください。

遮熱カバーに水があたらないように、入れてください。

⚠️ ご注意ください

※熱湯での給水はおひかえください。やけどや、センサー誤作動のおそれがあります。

※水道水以外は使用しないでください。

※井戸水や湧き水、市販のミネラルウォーターなどを使用すると、雑菌の繁殖や不純物がふた内部や水タンクに付着して故障の原因になることがあります。

※ふたを開けた際に、ふたに付着したスチーム(水や湯)がふたをつたって流れてきますので、水タンク上でふたをたてるなどして水切りをしてください。

※タオル等を準備して本体や床が濡れないようにしてください。

※スチーム吹出口から水を入れないでください。水漏れや故障の原因となります。

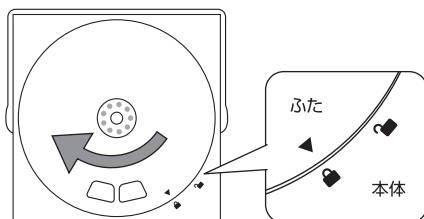
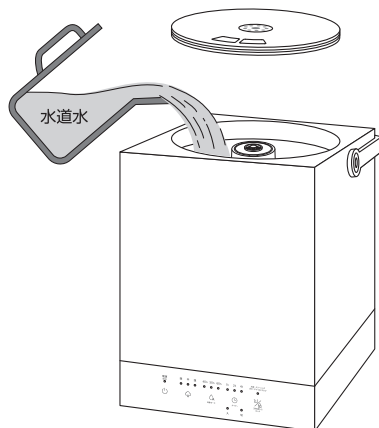
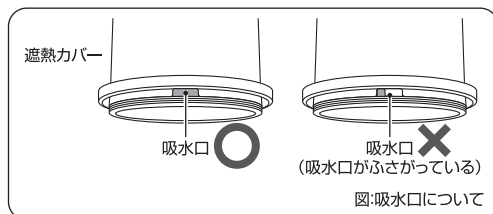
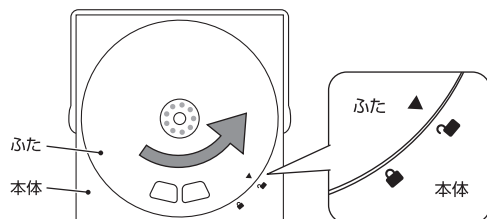
※本体を移動させる場合は、本体や水タンク内の水が、冷めたのを確認してから動かしてください。

4 ふたを閉める

ふたの▼印と本体上部の🔒印をあわせてはめ込む。

ふたを左に回して、▼印と🔒印をあわせるようにしっかりと閉めます。

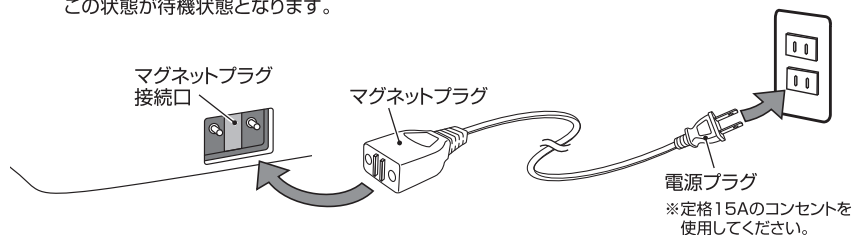
※ふたを閉めずに加湿動作を行わないでください。



運転を開始する

1 マグネットプラグを本体のマグネットプラグ接続口に差し込み、AC100Vコンセントに電源プラグを確実に差し込む

- 「ピッ」と音が鳴り、すべての表示ランプが約1秒間点灯した後、消灯します。この状態が待機状態となります。



2 『電源ボタン』をタッチして加湿を開始します。

- 『電源ボタン』をタッチすると、加湿量「弱」が設定され、電源ランプと加湿量ランプ「弱」が点灯します。

●加湿を開始するまでの時間

水タンク満水時は、運転開始から加湿が開始するまで約15分程時間がかかります。(水温20℃の場合)
また、運転開始15分間は、加湿量(強)で運転し、その後設定した加湿量に変わります。

※表示ランプは設定した加湿量/湿度が点灯します。

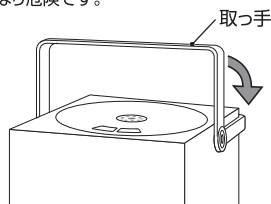
※水の量・水温により加湿開始するまでの時間は異なります。

- 表示ランプは操作後約10秒で自動的に減光(50%)します。いずれかの操作をすると全灯(100%)します。



⚠ 注意

- スチームが出始めるまでの所要時間は使用環境や水の量、水温により異なります。
- 運転中はタンクの水温が上昇するため、本体の外側が温かくなりますが、異常や故障ではありません。
- 運転中は必ず取っ手を横に倒してください。上にあげていると、スチームがあたって高温になり危険です。

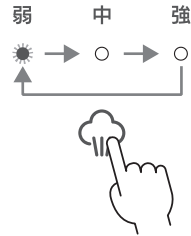


使用方法

加湿量を設定する(連続モード)

『加湿量調節ボタン』をタッチして加湿量を設定します。

- 加湿量は3段階「弱」「中」「強」から選択でき、ボタンをタッチすることにより右図のようにランプが切り替わります。



加湿量・連続加湿時間の目安

モード	弱	中	強
加湿量(約)	200mL/h	400mL/h	600mL/h
連続加湿時間(約)	18.5時間	9.5時間	6.5時間

(満水・水温20℃の場合)

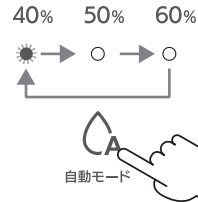
加湿量を設定する(自動モード)

運転と停止を繰り返しながら、周囲湿度を一定の範囲に保ちます。

『自動モードボタン』をタッチしてお好みの湿度を設定します。

- 湿度は3段階「40%」「50%」「60%」から選択でき、ボタンをタッチすることにより右図のようにランプが切り替わります。

※周囲湿度が設定した湿度以上になると自動で運転を停止します。
運転停止中も選択した湿度ランプは点灯します。



⚠ 注意

自動モードは加湿量を設定できません。
『加湿量ボタン』をタッチすると、自動モードは解除されます。

湿度センサーについて

本機の湿度センサーは本体に内蔵されているため、
使用環境により実際の湿度値とは誤差があります。

自動モード一覧

40%	「弱」モードで加湿。周囲湿度40%以上になると自動で運転を停止し、運転停止時間5分以上かつ周囲湿度35%以下で運転を再開します。
50%	「中」モードで加湿。周囲湿度50%以上になると自動で運転を停止し、運転停止時間5分以上かつ周囲湿度45%以下で運転を再開します。
60%	「強」モードで加湿。周囲湿度60%以上になると自動で運転を停止し、運転停止時間5分以上かつ周囲湿度55%以下で運転を再開します。

使用方法

タイマーを設定する

入タイマー（1～7時間）

※入タイマーは待機状態でのみ設定できます。

待機状態時に『タイマーボタン』をタッチし、
運転開始時間を設定します。

- 『タイマーボタン』をタッチすると、
入タイマーランプとタイマーランプが点灯します。
- ボタンをタッチすることによりタイマーランプが下図のように変わります。

- ※カウントダウン機能により、ランプは残りの目安時間を表示します。
- ※設定した時間が経過すると、電源ランプと加湿量「弱」ランプが点灯し運転を開始、タイマーランプが消灯します。
（運転開始15分間は、加湿量「強」で運転します。表示ランプは加湿量「弱」ランプが点灯します。）
- ※入タイマーを解除する際は、『タイマーボタン』を約3秒間長押しするか、タイマーランプが消灯するまでタッチし続けると設定が解除できます。
- ※入タイマー設定中に『電源ボタン』をタッチすることでも入タイマー設定は解除され、加湿量「弱」で運転を開始します。

待機状態

1h 2h 4h



点灯



入

切

切タイマー（1～7時間）

運転中に『タイマーボタン』をタッチして運転停止時間を設定します。

- 『タイマーボタン』をタッチすると、
切タイマーランプとタイマーランプが点灯します。
- ボタンをタッチすることによりタイマーランプが下図のように変わります。

- ※カウントダウン機能により、ランプは残りの目安時間を表示します。
- ※設定した時間が経過すると、タイマーランプと切タイマーランプ・電源ランプが消灯し、運転を停止します。
- ※『タイマーボタン』を約3秒間長押しするか、タイマーランプが消灯するまでタッチし続けると設定が解除されます。
- ※切タイマー設定中に『電源ボタン』をタッチすることでも切タイマー設定は解除され、運転を停止します。

運転中

1h 2h 4h



白点灯



○

太陽マーク

入

切

タイマーランプ表示

OFF	1時間	2時間	3時間
1h 2h 4h ○ ○ ○	1h 2h 4h 太陽マーク ○ ○	1h 2h 4h ○ 太陽マーク ○	1h 2h 4h 太陽マーク 太陽マーク ○
4時間	5時間	6時間	7時間
1h 2h 4h ○ ○ 太陽マーク	1h 2h 4h 太陽マーク ○ 太陽マーク	1h 2h 4h ○ 太陽マーク 太陽マーク	1h 2h 4h 太陽マーク 太陽マーク 太陽マーク

タイマー設定は前回の設定時間をメモリーします。
（本体から電源コードを外すなど電源が供給されなくなるとリセットします。）

使用方法

チャイルドロックを設定する

『チャイルドロックボタン』を2秒間長押しして設定する

- 『チャイルドロックボタン』を2秒間長押しするとロックが設定され、チャイルドロックランプが点灯します。
再度2秒間長押しするとロックが解除されます。

※チャイルドロックを設定中は、他のボタンを操作できません。
チャイルドロックを解除してから操作を行ってください。

※本体から電源コードを外すとチャイルドロックは解除されます。

※給水のお知らせがあった場合は、チャイルドロックは自動的に解除されます。

点滅：クリーニング
点灯：チャイルドロック

点灯 



給水のお知らせ

- タンクの中の水が少なくなると、「ピーピーピー」と警告音が鳴り、給水ランプが赤色に点滅し、自動で運転を停止します。
運転停止後、給水ランプが赤色点灯に変わります。

- 給水表示後はすぐにふたを開けず、本体・ふた・水タンク・遮熱カバーの熱が冷めてからゆっくりとふたを開けて給水してください。
再度『電源ボタン』をタッチすると運転を開始します。

※給水方法は「P6 給水方法」をご参照ください。

- 水タンクの水が冷めていても遮熱カバーは熱い場合があります。
触れる際は十分に気を付けてください。



警告

- 使用中や使用直後は、ふたを取り外したり、スチーム吹出口に手や顔を近づけたり、触れたりしないでください。やけどの原因になります。
- 給水やお手入れ・移動の際は、必ず運転を停止し、電源プラグやマグネットプラグを抜いて、本体が冷めてからおこなってください。
感電ややけどのおそれがあります。

電源
(給水)



ピーピーピー

赤点滅



運転を停止する

1 『電源ボタン』をタッチして運転を停止します。

- 運転中に『電源ボタン』をタッチすると、すべてのランプが消灯し、運転を停止します。

※運転停止後は余熱により、しばらくスチームが出ます。



警告

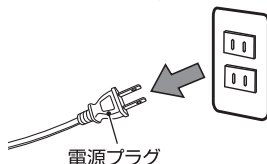
使用中や使用直後は、ふたを取り外したり、スチーム吹出口に手や顔を近づけたり、触れたりしないでください。やけどの原因になります。

電源
(給水)



2 使用後は電源プラグをコンセントから抜く。

- 使用後は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ご使用にならないときはタンクの水を空にして保管してください。



お手入れについて

⚠️ ご注意ください

※必ず運転を止め、電源プラグやマグネットプラグを抜いて、本体内部が冷めている事を確認し、お手入れをおこなってください。感電・やけど・けがの原因になります。

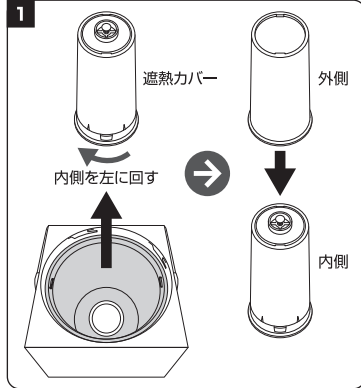
水タンク・遮熱カバーのお手入れ(1週間に1～2回程度)

1 ふたを開けて遮熱カバーを取り外してください。

(1 参照)

※水タンクの水が冷めていても遮熱カバーは熱い場合があります。十分に気を付けて取り外してください。

- タンク内部の遮熱カバーを、まっすぐ上に取り外してください。
- 内側の遮熱カバーを左に回して取り外してください。

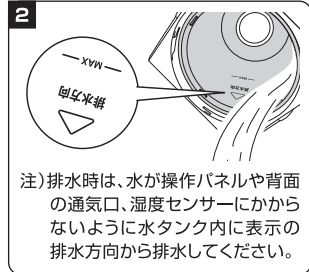


2 タンクの水を排水します。

(2 参照)

- タンク内部に印字された矢印の排水方向を下に向けて排水してください。

※排水時は湿度センサーや操作部に水がかからないよう注意してください。



3 水タンク内と遮熱カバーをきれいに洗ってください。

※水あか(白い付着物)が少しでも付着したら、中性洗剤を含ませた柔らかいスポンジなどで洗ってから、洗剤が残らないように水でよくすすいでください。放置すると水あかが固着して、故障の原因になります。

4 乾いたやわらかい布でふいてください

汚れが取れにくいときは、次のようにクエン酸をご使用ください。

《クリーニングモード》 ※クリーニングモードは待機状態でのみ設定できます。

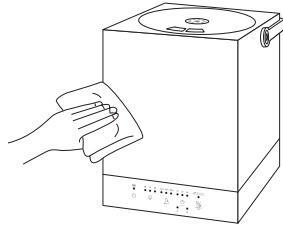
- ①遮熱カバーを本体に取り付けてください。
- ②ぬるま湯にクエン酸40gを溶かし、水タンクの満水線まで水と一緒に入れます。
- ③ふたを閉めて電源プラグをコンセントに差し込み、待機状態にします。
- ④待機状態時に「クリーニングモードボタン」をタッチすると、クリーニングモードがスタートします。クリーニングモード中はクリーニングモードランプが点滅し、約5分間加熱し20分後に「ピッピッ」と音が鳴り停止します。その後、40分放置してください。(合計1時間)
- ⑤運転停止後、本体が冷めてから電源プラグ・ふたを外し、お湯を捨ててください。
- ⑥水タンクを水でしっかりとすすいでください。

- 1～2か月に1回を目安にクエン酸洗浄をしてください。
- 汚れが落ちにくい場合は、再度クエン酸洗浄をしてください。
- クリーニングモード中は、他のボタンは操作できません。
- 誤ってクリーニングモードを設定したときや、クリーニングモードを途中で取り消すときは、「クリーニングボタン」をタッチしてください。

お手入れについて

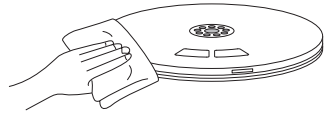
本体のお手入れ

- ぬるま湯に浸しかたくしぼった柔らかい布でふきとってください。
(強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)
- ※通気口／湿度センサー部のホコリを掃除機などで清掃してください。



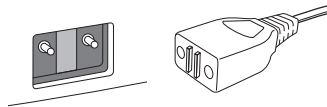
ふた・スチーム吹出口

- 水道水の水質によっては、水あか(水中のミネラル成分が析出した白いもの)が溜まりやすくなります。
- 2、3日に1回を目安に柔らかいスポンジなどで水洗いし、乾いたやわらかい布で拭いてください。
- 汚れが落ちにくいときは、中性洗剤を含ませた柔らかいスポンジなどでやさしく洗い、水でよくすすいでください。
- ※お手入れせずに使用すると、汚れや水あかにより、赤カビの発生や異臭の原因になります。



マグネットプラグ接続口

- 乾いたやわらかい布で汚れをふき取ってください。
マグネットプラグも同様に、お手入れしてください。
- ※コンセントから電源プラグを抜いてから、お手入れしてください。
- ※汚れたまま使用すると発熱などのおそれがあります。
- ※水がかからないようにご注意ください。
また付着した水は、必ずふき取ってください。



⚠ 注意

- ベンジン・シンナーではふかないでください。変色や変形の原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用してください。変色・キズの原因になります。
- 水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ換えてください。本体内部は常に清潔を保つよう定期的にお手入れしてください。お手入れせずにお使いになると、汚れや水あかにより、カビや雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し健康を害することがあります。この場合は、医師に相談してください。
- 水道水以外は使わないでください。一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水は水あかが多くなったり、カビや雑菌の繁殖がしやすくなります。必ずきれいな水道水をご使用ください。
- ジュースなどの飲料水・化学薬品・芳香剤(アロマオイルなど)、洗剤を入れた水などは絶対に使用しないでください。水タンクや本体が故障する原因となります。

※各種部品をお買い求めの際は、販売店または当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

保管のしかた

- お手入れ後はよく乾かしてから、お買い上げ時の包装箱に入れるか、ポリ袋をかぶせて、湿気の少ない場所に保管してください。
- ホコリやチリがかからないようにしてください。
- 収納するときは必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。
- 傾けたり、横倒しの状態で保管しないでください。故障の原因になります。

※廃棄するときは、お住まいの自治体の定めた指示に従い、処分してください。
地球環境保護のため、不法投棄は絶対にしないでください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

症 状	お調べいただくこと	対処方法
電源が入らない 運転しない	電源プラグはコンセントからはずれたり、ゆるんでいませんか。	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んで、電源ボタンをタッチしてください。
	マグネットプラグが外れていませんか。	本体接続口に確実に接続してください。
	安全装置が働いていませんか。	P14「安全装置について」に従って操作してください。
	入タイマーランプが点灯していませんか。	入タイマーを解除してください。
加湿しない、 または 加湿量が少ない	スチーム吹出口が目詰まりしていませんか。	P11～12「お手入れについて」に従って掃除してください。
	自動モードにより、環境湿度が設定湿度を超えていませんか。	自動モードを解除、もしくは環境湿度が下がるのを待ちください。
	水が少なくなっていますか。 (給水ランプ点灯)	給水してください。
	運転開始しても水が沸とうする までは蒸気が出ません。	沸とうするまでおよそ15分かかります。 (満水・水温20℃の場合)
給水してもすぐに 給水ランプが点灯する	本体・水タンクが冷める前に 給水していませんか。	給水表示後、10分以上時間をあけて 本体・水タンクの熱が冷めてから給水してください。
	熱湯を給水してはいませんか。	一度運転を切り、水タンクの水がぬるま湯程度に 冷めてから再度運転を開始してください。
本体周辺や床が 濡れる	加湿量が「強」になって いませんか。	室内の湿度が高い場合は、 加湿量を「弱」に設定してください。
	低い場所に設置していませんか。	床や低い位置で使用するすると濡れやすくなります。 P5「設置のしかた」をご確認ください。
タンクや吹出口に 白い粉状の物質が 付着する	お使いになっている水道水に 含まれるミネラル成分です。	定期的にお手入れをおこなってください。 P11～12「お手入れについて」参照
スチーム吹出口から 水が噴き出る	給水量が満水線(MAX)以上 入れていますか。	水を満水線(MAX)までにしてください。
においがでる	水タンクや本体が汚れて いませんか。	P11～12「お手入れについて」に従って 掃除してください。
	水道水以外を使用して いませんか。	水道水を使用してください。

上記の点検または処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へご相談ください。

故障かな?と思ったら

安全装置について

- 温度過昇防止装置** 本体内部の温度が上昇しすぎると、加熱防止装置が働いて自動的に停止します。

復帰のしかた	①本体の温度が冷めたことを確認した後に、再度電源を入れなおしてください。 ②ヒーターの異常な温度上昇を感知した場合に、安全のため温度ヒューズが回路を遮断します。この場合は温度ヒューズの交換が必要になります。お買い上げの販売店、またはお客様ご相談窓口(P15)へ修理を依頼してください。
--------	--

- 転倒時自動電源OFF装置** 本体が転倒したり、傾いたりすると自動で運転を停止します。



加湿器に水が入った状態で転倒し、電源プラグを差したままにすると、電源のショートや発煙・発火の原因となるおそれがあります。

加湿器に水が入った状態で転倒した場合は、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。電源を入れ直さずに、加湿器を水平で安定した場所に置いてください。そのまま継続してご使用にならず、お客様ご相談窓口(P15)へご連絡ください。

仕 様

本体サイズ	約254(W)×320(H)×256(D)mm
本体質量	約2.7kg
タンク容量	約4.0L
本体色	ホワイト
電源コード	約1.4m
電源	100V 50/60Hz
消費電力	480W
加湿方法	スチーム式
加湿能力	約600mL/h ※強モード運転時
モード切替	3段階
連続加湿時間	強：約6.5時間 中：約9.5時間 弱：約18.5時間
適用畳数	(木造)約10畳 (プレハブ)約17畳
付属品	マグネットプラグ式電源コード

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

※本製品は日本でご使用いただくために設計・製造されたものです。

※加湿量は、室温20℃・湿度30%のときの最大値で表しています。

※室内の温度や湿度によって加湿量はかわります。

アフターサービスについて

①本取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

取扱説明書をお読みになった後は販売店・お買い上げ日の記載がある保証書貼付用レシートと共に大切に保管してください。
通信販売などでお買い上げの場合は、アプリのお買い物履歴や販売店の購入明細、日付の入った代金引換の領収書などが販売店印の代わりとなりますので、大切に保管してください。

②保証期間中に故障して修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店まで本書を添えて商品をご持参ください。

③保証期間経過後の修理についても、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理によって、機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

④この製品の補修用性能部品の保有期間は製造切後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

⑤製品に異常がある場合には、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。

⑥アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店、または当社ご相談窓口にお問い合わせください。

保証書(持込修理)

商品名：スチーム式加湿器		品番：OB-SH01-W	
お客様様	お名前	お買い上げ	年 月 日
	ご住所 〒	住所	
		取扱販売店	
	電話番号	電話	
保証期間／お買い上げ日より 本体1年間 消耗品及び付属品は除く			

持込修理

本書は、保証期間内に本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日から上記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

無料修理規定

1. 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、商品と本書をご提示のうえ、お買い上げ販売店に依頼してください。
3. ご転居の場合、事前にお買い上げ販売店に、ご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げ販売店に、修理依頼ができない場合は当社ご相談窓口へご相談ください。
5. 保証期間中でも、次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取扱過誤、落下及び輸送上の故障又は損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
 - (ニ) 接続する他の機器の異常により生じる故障及び損傷。
 - (ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ヘ) 樹脂表面(フッ素樹脂加工も含む)及びメッキや塗装の磨耗や打痕による損傷。
 - (ト) 保証書のご提出がない場合。
 - (チ) 保証書のご購入年月日、お客様名、販売店欄の記入または押印がない場合。
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
7. 保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

*この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社ご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検



ご使用の際
このようなことは
ありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深いキズや変形がある。
- コゲくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。

ご使用
中止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

【輸入元】

株式会社シー・ネット

〒540-0036 大阪市中央区船越町1-6-2 アスタビル4階

お客様ご相談窓口 お問い合わせ先 0570-040-888
受付時間 (土・日・祝日・年末年始除く) 10:00～17:00
ホームページ <https://www.cnet-coltcd.jp>